

中学校・第1学年・数学科・データの分析と活用

育成を目指す資質・能力

山梨県提供

目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。

ICT活用のポイント

データの収集及び分析にICTを活用し、データの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断する活動を充実する。

事例の概要

目的に応じてデータを収集する

集めたデータを分析し、分布の傾向を読み取る

読み取ったことを基に考察し判断したことをレポートにまとめる

他者と交流したことを基に、方法等を評価・改善する

- ・本事例は、村のマスコットキャラクター「タバスキー」について、親しみやすいキャラクターとはどのようなものかを探るために、キャラクターの「目の高さ」「目と目の幅」などの観点について、アンケートを実施し、その回答を分析するという実践である。
- ・学習支援ソフトのアンケート機能を活用し、全校生徒及び保護者、隣村の中学校の生徒及び保護者から回答を得た。
- ・回答結果のデータを、ウェブブラウザにより統計ツールを使えるサイトにアクセスし、ヒストグラムをつくったり、代表値等を求めたりした。（表計算ソフトでも代用可能）
- ・データの分布の傾向を読み取り、考察したことをプレゼンテーションソフトでレポートにまとめた。
- ・それらを学習支援ソフト等で共有した。

中学校・第1学年・数学科・データの分析と活用

【事例におけるICT活用の場面】

親しみやすい「タバスキー」はどれ？
*必須

名前を記入してください*

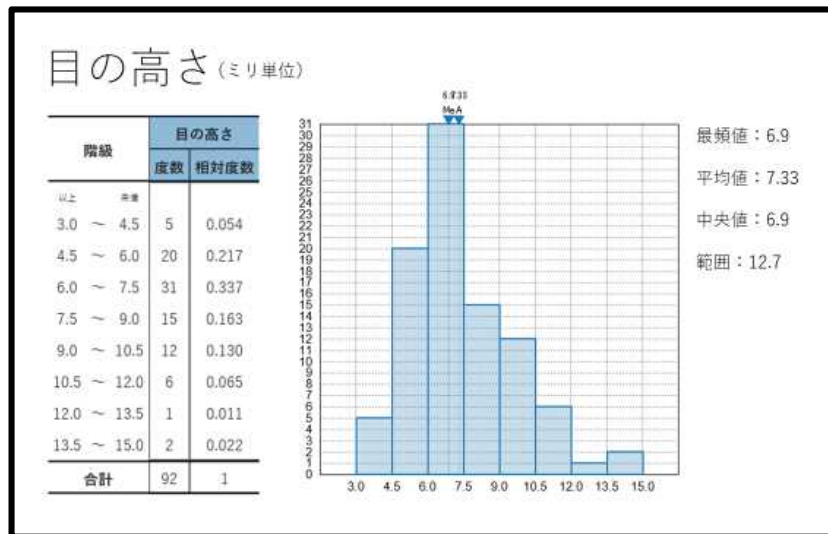
回答を入力

次のア〜コの中から、もっとも親しみやすい「タバスキー」を2つ選んでください。

ア イ ウ
エ オ カ
キ ク ケ コ

ア
 イ
 ウ

【事例におけるICT活用の場面】



【事例におけるICT活用の場面】

- 学習過程と事例におけるICT活用の場面との関係
「目的に応じてデータを収集する」過程において、アンケート機能を用いてデータを収集する。
- ICTを効果的に活用するためのポイント
学習支援ソフトのアンケート機能により、回答結果は表形式にまとめられる。結果をそのまま統計データとして活用できるよう、選択式の回答や数値による回答にすることが望ましい。
- 生徒や教師にとってのICT活用のメリット
アンケートの作成及び印刷、アンケートへの回答、結果の集約等に係る作業を簡略化することができる。

【事例におけるICT活用の場面】

- 学習過程と事例におけるICT活用の場面との関係
「集めたデータを分析し、分布の傾向を読み取る」過程において、ウェブブラウザを用いて統計ツールを使えるサイトで分析を行う。
- ICTを効果的に活用するためのポイント
統計ツールを用いてヒストグラムの作成、代表値等の算出を行う。
- 生徒や教師にとってのICT活用のメリット
統計ツールの設定により、階級の幅やグラフのタイプ、色等を詳細に変更可能であるため、試行錯誤しながらデータの分布の傾向を読み取ることができる。

【活用したソフトや機能】学習支援ソフト、ウェブブラウザ、プレゼンテーションソフト